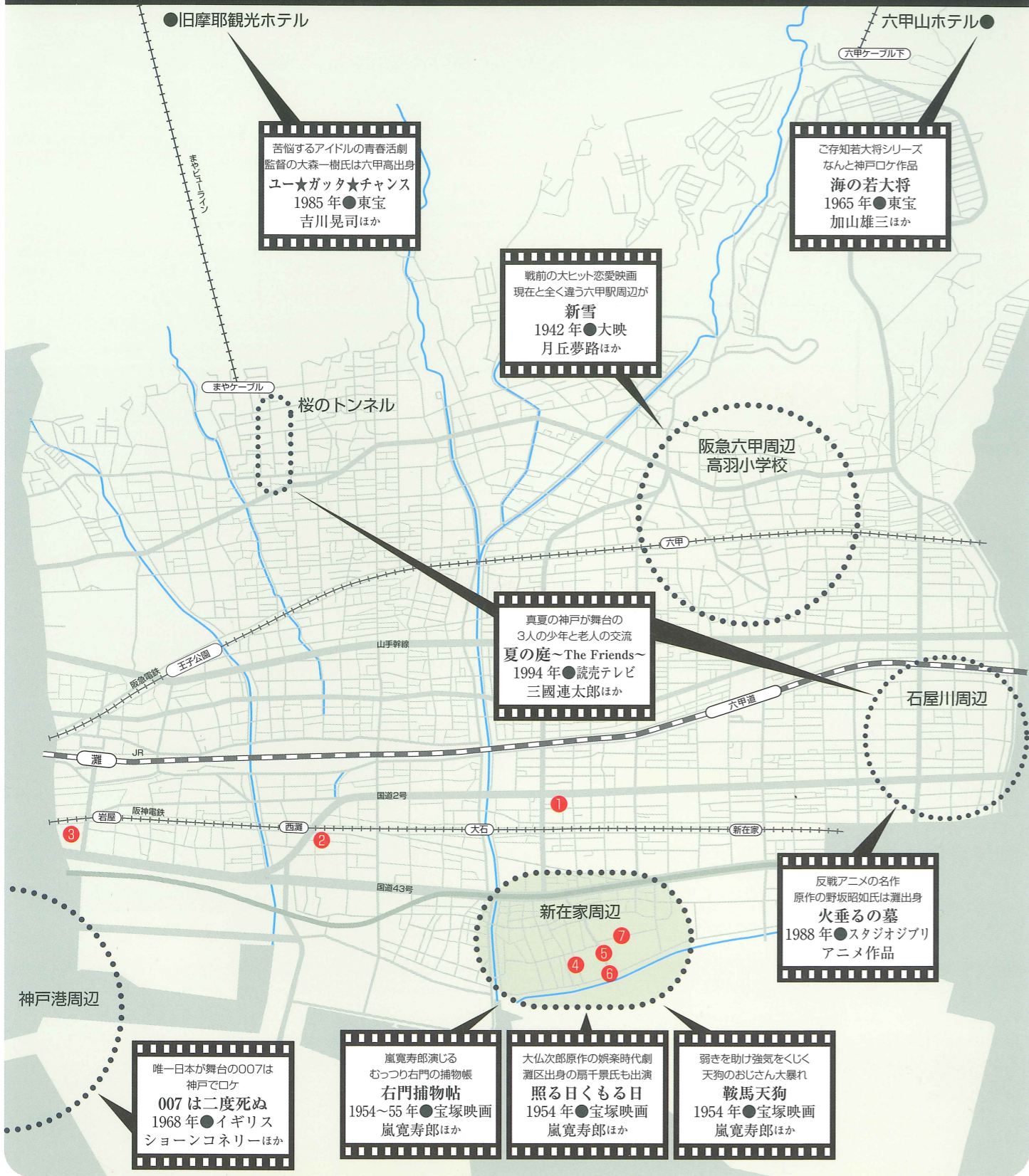


灘区映画ロケMAP

前ページで紹介したスポットのほか、灘区内や周辺でロケが行われた映画作品のマップです。ロケ地巡りをしてみてはいかがでしょうか？
(丸数字は裏面で紹介したスポットです)



なだ だ な

灘のまちを知るための
情報誌

2007.4
Vol.
19

編集
発行

灘区民まちづくり会議
企画運営委員会
灘区役所



なだ だ な

編集 灘区民まちづくり会議
企画運営委員会
発行 灘区役所
〒657-8570
灘区役所まちづくり推進課内
(078) 843-7001代

なだだな No.19
2007年4月

灘区ホームページ「i-nada」
<http://www.city.kobe.jp/nada/>

第三火曜は
「ちょっと気配り」参加の日
一ちょっとした気配りで
住みよい灘区をー

元気アップ神戸
「ちょっと気配り」のまち 区民運動

神戸市広報印刷物登録
平成18年度第191号-2
(広報印刷物規格B-1類)

この広報紙は、再生紙を
使用しています。



灘区ロケ地探訪

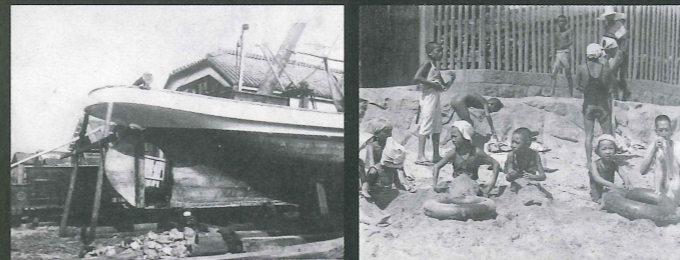
灘のまち探検隊、いにしへのロケ地紀行

今から50年以上前、灘の浜手には木造の酒蔵が軒を連ね、白い砂浜が広がる風光明媚なまちでした。ここで多くの時代劇のロケが行われ、銀幕のスターたちが駆け抜けたことをご存知ですか？ 今回の灘のまち探検隊は、いにしへのロケ地を探訪します。

写真提供: 浜田様、本田修様、株式会社マツダ映画社様、六甲摩耶鉄道株式会社様



- 上の2枚の写真は新在家での映画ロケの写真です。
- 浜辺のシーンやな。
- 砂浜に松と舟、今では想像もつきませんねえ。
- 新在家で映画のロケがあったのはいつごろなんですか？
- 僕が覚えてるのは昭和30年前後やったかな？
- 嵐寛寿郎の「右門捕物帖」いうシリーズやった。
- 嵐寛寿郎いうたら大スター。なんでまた新在家でロケを…。
- 当時の新在家あたりは古い酒蔵がいっぱいあって、時代劇にもってこいのロケ地やったんと違うかな。
- 「むつり右門」を制作したのは宝塚映画という映画会社やったんやけど、海のシーンとかは神戸で撮ったりしてたらしい。



- 上の写真が浜の様子や。
- 舟の向こうに写ってるのは酒蔵ですね。
- わあ、子どもも真っ黒やね。灘にもこんな砂浜があったんやなあ。今もあたらええのになあ。
- この浜で貝を取って焼いて食べるのがおやつやった。
- それはそうと、もっと昔は新興キネマという映画会社がつくったチャンバラ映画のロケもやっとなあ。
- いつぐらいですか？
- 昭和の初め。まだ無声映画やった。そのうちトーキーが出て来て、レビューと交互にやる連鎖劇というのもあったなあ。
- 鹿ノ下通にあった新国キネマ[裏面図①]（その後の富士映劇）という映画館はよく覚えてるで。2階席はじゅうたんが敷いてあった。今で言うたら指定席みたいなもんかな。1階席より10銭高かった。
- そのころ灘にはほかに、都通の遊楽館[裏面図②]と岩屋の敏馬館[裏面図③]いう劇場があったね。
- 軍艦ホテル（旧摩耶観光ホテル）でもやってたよ。
- 温泉入って映画見て、ヘルスセンターのさきかけやったんと違うかなあ。
- 下の写真が大ホールの写真。ここは映画のロケにも使われていますね。



●戦後の西郷地区の航空写真を見ると、浜手の方に大きな屋根の酒蔵が並んでいるやろ。この当時は新在家もまだ時代劇の撮影ができるような、古い建物や路地がいっぱい残っていたまちやったんや。



- この細い路地でロケやってた。
- いい路地ですね。
- 当時は矢板塀がつづく情緒ある路地やったんや。映画「照る日くもる日」では、ここをアラカン（嵐寛寿郎）が走ったんや。
- スターが走った路地。
- 「照る日くもる日」は確か灘区出身の扇千景さんも出演されていますね。
- つきあたりは砂浜か。絵になる道やなあ。
- 高架もなかったしなあ。

[裏面図④]

●若宮神社の前の道はもう少し細くて海に向かって参道が続いてたなあ。鳥居の位置ももっと海よりやった。

●参道には長屋門のある家もあってそこも撮影にも使われてたそうや。[裏面図⑤]



●このあたりは砂浜で、いわしを天日で干して煮干しとかつくってたな。

●撮影用に常夜灯のセットが作られてた。

●とうろうみたいなやつね。[裏面図⑥]



●酒蔵の道沿いにも酒蔵がずらっと並んでいて、ちょうどこのあたり大きな長屋門があって、とにかく、まち全体が映画村みたいやった。

●今残っていたらすごい資源になりますね。



[裏面図⑦]

今回の探訪地とその他の灘ロケ作品の情報は裏面に